

# NISAに

# よろしく

## ③ 使 い 方 編



僕はまだ知らなかった…

NISAの本当の使い方を

### 原作情報



タイトル：ブラックジャックによるしく  
著作者名：佐藤秀峰



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会



# NISAに よろしく

## ③ 使い方編

NISAについてわかりやすくお伝えするため、  
人気漫画「ブラックジャックによろしく」とコラボレーション！

「ブラックジャックによろしく」のパロディ漫画で、  
NISAについてご紹介します。

前回までのあらすじ

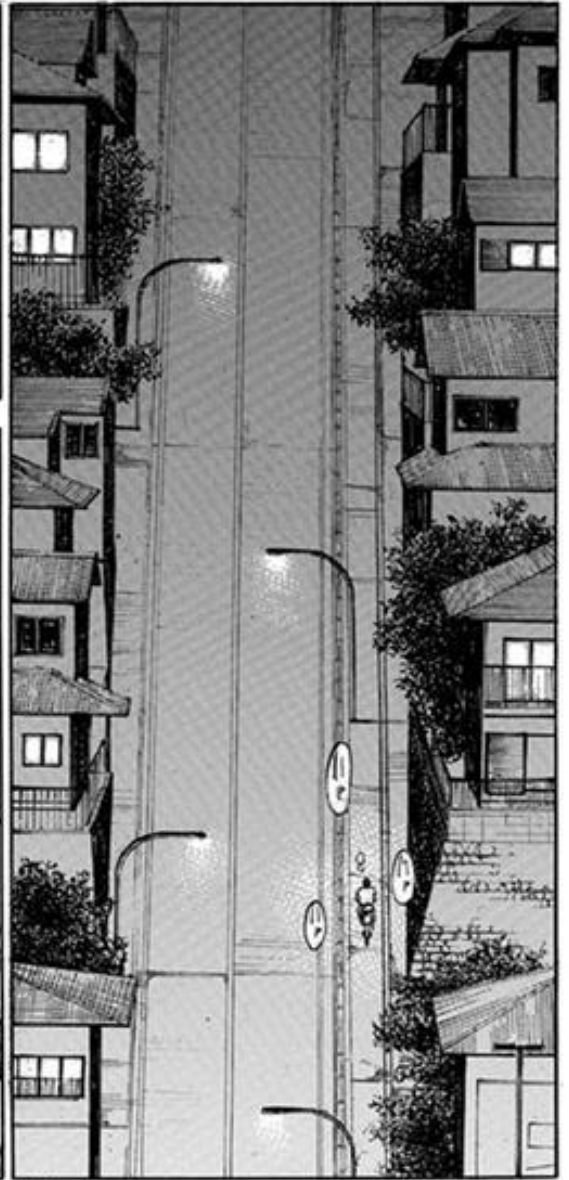
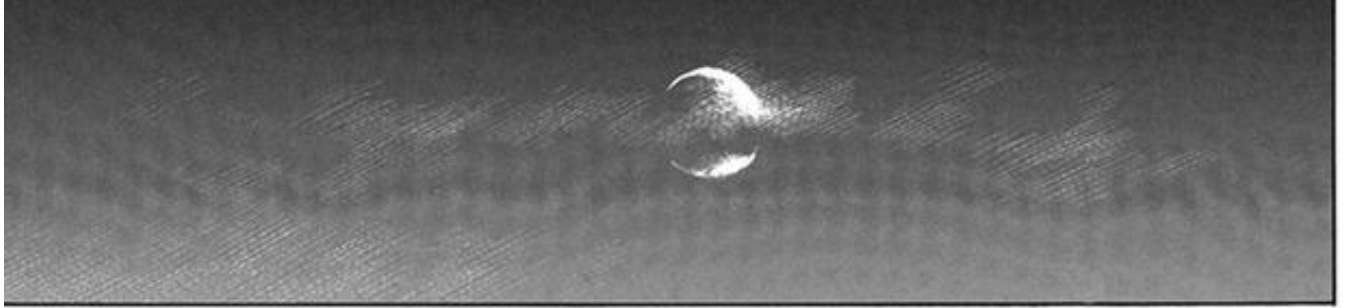
庄司先生からNISA制度のポイントや  
旧制度との違いを教えてもらった斉藤くん。

非課税保有期間は無期限、360万円の年間非課税  
投資枠、つみたて投資枠と成長投資枠の併用可、投資枠  
の再利用など、現行のNISA制度は使い勝手が良  
くなったことが分かった。

では具体的にどのように使ったらいいのだろうか？  
頼りだった宇佐美先生はNISAのことを全く知らず、  
斉藤くんは使い方が分からないままであった。



※本資料において紹介する税制優遇制度において、制度を活用する全てのみなさまが税制メリット全ての恩恵を受けるわけではありません。また、本資料は2024年1月時点の各種情報等を基に作成しておりますので、今後変更となることがあります。



NISAの  
ポイントは  
わかったけど...



今日のニュースで  
iDeCoという  
税制上の優遇がある  
年金制度もあると  
言ってたしなあ...







NISAの

つみたて投資枠と  
成長投資枠はどう  
使い分ければいい  
んでしょうか？



ん？



2つの枠が併用で  
きると言われても、  
いまいちピンと  
こないんです



しかもNISA以外に  
iDeCoも税制上の  
優遇措置があるらしい  
じゃないですか…



たしかに  
iDeCoと  
NISAは  
どちらも運用益が  
非課税になる





iDeCoは原則60歳まで引き出すことができない

その一方で、iDeCoは掛金が全額所得控除となるといったNISAにはないメリットもある



しかしiDeCoは年金制度だから異なる点もあるんだ

例えばNISAはいつでも資金を引き出せるが、



それぞれ特徴が異なるからうまく利用できるといういな



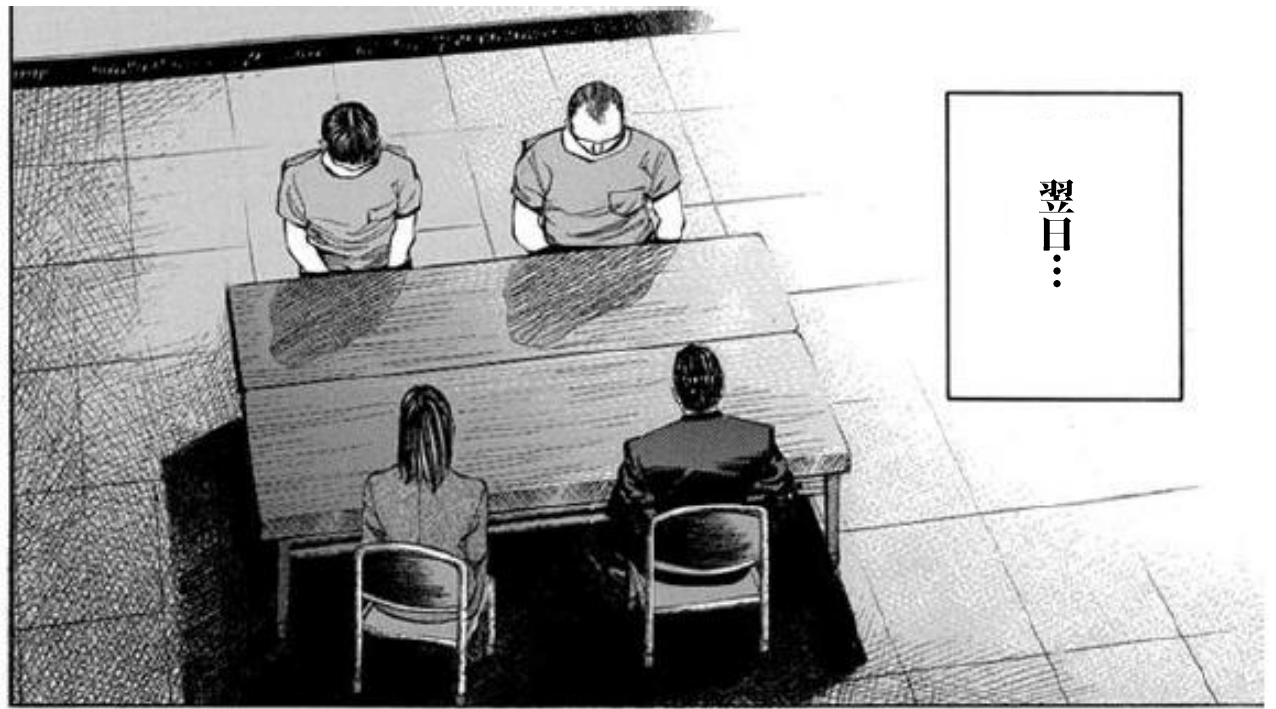
そういえば...

退院したご主人が奥さんと一緒に今後の相談に来る予定だったな

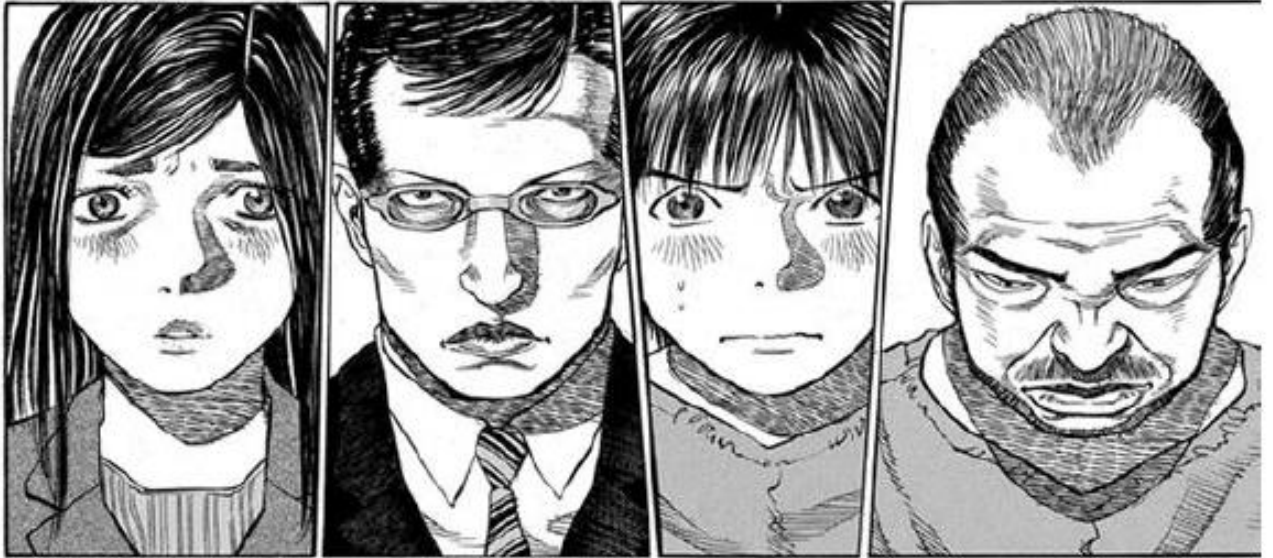


まあiDeCoの話はこらへんにしよう（「NISAによろしく」だからな...）

NISAの投資枠の使い分けについては俺以外の人の話も聞いた方がいいだろう



翌日…



この度はご退院  
おめでとうございます

今後のご相談と  
聞いておりますが、  
具体的にはどういった  
内容でしょうか？

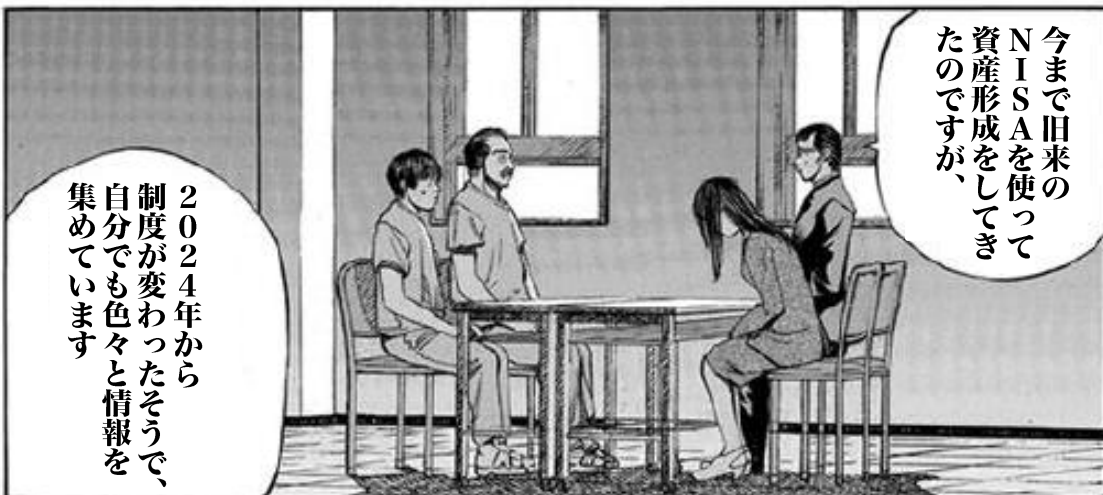




ここ病院なん  
ですけど…



実は資産形成に  
ついてアドバイスを  
頂きに参りました



今まで旧来の  
NISAを使って  
資産形成をしてき  
たのですが、

2024年から  
制度が変わったそうで、  
自分でも色々と情報を  
集めています



困りました  
なあ

まあ簡単な  
アドバイスだ  
けさせてもら  
います



途方にくれてい  
たところ、  
先生が詳しいと  
伺いました



しかし  
NISAでの  
投資枠の使い分けや  
注意点が  
よくわかりません





まずはつみたて投資枠  
と成長投資枠の話から  
はじめましょう

以前ご利用になら  
れていたのは、  
つみたてNISAと  
一般NISA、  
どちらでしょうか？



現行のNISAでは  
買い付けが積立投資  
のみに限定された  
つみたて投資枠と

一括投資も  
行える  
成長投資枠が  
併用できます



つみたてNISAです  
毎月給与の一部を投資  
に回していました

投資タイミングが  
分散できるという  
話でしたから



ボーナスや退職金  
を成長投資枠で  
一括投資すること  
が一例です



そのため、  
毎月の積立投資は  
つみたて投資枠で  
続けながら、

一括投資も  
取り入れることで、  
ライフプランに  
あわせた柔軟な投資  
が可能になります

※資産を一部売却した場合、その取得価額分の非課税保有限度額を翌年に再利用することができませんが、年間投資枠の上限は変化しません



次に注意点です

年間投資枠は  
360万円、  
非課税保有限度額  
(総枠)は  
1800万円  
ありますが、



成長投資枠のみ  
だと年間投資枠は  
240万円、非課税保  
有限度額は1200万  
円しか使えません

一方、つみたて投資枠  
なら1800万円を  
使い切ることができます



非課税保有限度額  
は必ずしもすべて  
使う必要はありません  
また、資金を一度  
引き出しても、

翌年にその分の  
投資枠を再利用  
できます※  
ですから、投資枠を  
早くから使うことに  
躊躇する必要は  
ありません



決まったな



よくわかりました  
NISAでは  
積立投資に一括投資  
を組み合わせてみた  
と思います

それにしても、  
最大360万円を  
年間で投資でき、  
枠も再利用できるのは  
大きいですね

はじめは念願の  
マイホーム  
購入資金を

その後に老後資金  
を運用しようと  
思っています

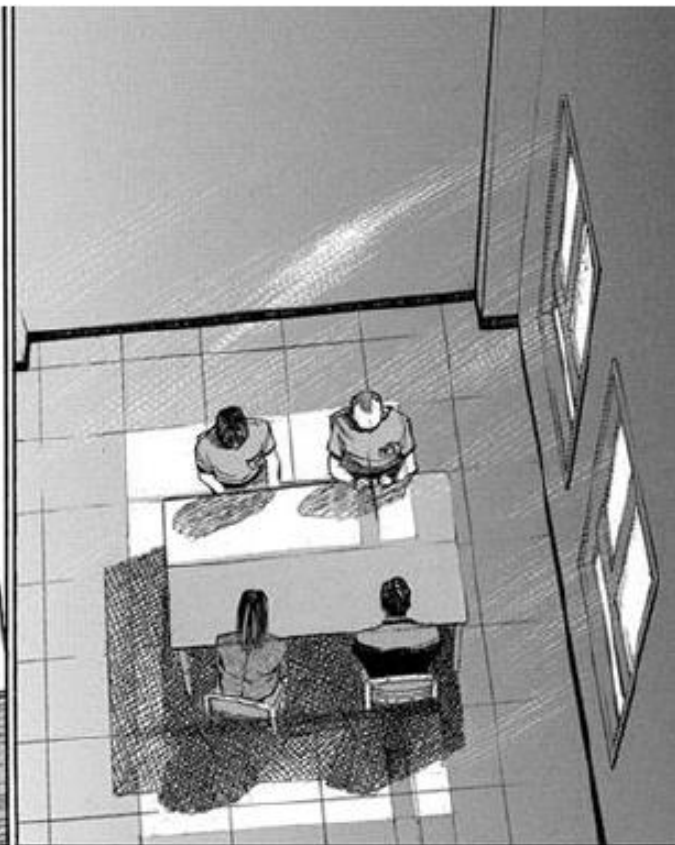


ところで  
旧制度は  
継続して  
利用できるの  
でしょうか？

また旧制度で  
運用している  
商品はどうなるの  
でしょうか？

旧制度の商品を  
売却して、非課税  
保有期間が生継続  
現行制度で運用  
したほうが良いと  
感じました





たしかにその  
選択肢も  
一理あります



2024年以降、  
旧制度において  
新規の買い付けや  
ロールオーバー※1は  
できません



しかしです！

旧制度は  
非課税期間終了まで  
利用できますし※2、  
現行制度では  
旧制度と別に非課税  
保有限度額が設定  
されます


非課税保有限度額  
を最大限活用する  
という観点で  
考えると、



旧制度での  
運用を継続する  
のも一案だと  
思います



※1 非課税期間が終了した際に、NISA口座で保有している金融商品を翌年の非課税投資枠に移行（移管）すること。なお、ロールオーバー可能な金額に上限はなく、時価が非課税投資枠を超過している場合も、そのすべてを翌年の非課税投資枠に移すことができます  
※2 2024年以降、旧制度で新規の買い付けはできなくなる一方、非課税保有期間は継続されます



そうだったのか…

旧制度を  
引き続き使っても、  
現行のNISAを  
利用できるのですね









NISAを  
どうやって  
使うべきなのか  
まだ分かりません

あのご夫妻のように  
すでに資産形成を  
始めているわけ  
じゃないですし、  
お金に余裕なんて  
ないですよ・・・



できるところ  
から始めるの  
が大事だぞ

これでもいい  
NISAをどう  
活用していくか、  
イメージついたか？

はじめは少額で  
投資を始めて、  
昇給したら  
投資額を増やせば  
いいじゃないか

そうだな・・・



いえ…  
まだ分かりません



お前は想像力が  
なさすぎるぞ…



じゃあ他の人が  
NISAについて  
どう考えているのか  
教えてやろう

NISA制度を  
利用する目的を  
尋ねたところ、



老後資金と答えた人が  
78%※と  
最も多かった

次いで多いのが、  
趣味・旅行などの  
遊興費※だ



30代では子供  
の教育資金の  
ために投資す  
る人が


30%※を超えて  
おり、年代に応じ  
て資産運用の目的  
が変化している



※出所…当社実施のアンケート調査・調査時期…2023年2月上旬・調査方法…インターネットリサーチ・調査対象者…全国・男女・20〜70代の投資興味層 2,653人(①旧制度利用者、②旧制度未利用者かつ投資に興味あり層について均等抽出)

■暴力的シーンが含まれていますが、あくまで漫画上の表現であり、当社がそれを煽動あるいは賛同するものではありません。





20・30代では想定する投資期間は20年以上と回答した人が最多※  
になったことから、  
長期的な目線での投資を目指していることがわかる

投資方法では積立投資をとりいれる人が6割超えた※

NISA制度の改正に伴って投資する商品の数を増やす人も半数以上※おり、

長期・積立・分散投資がキーワードになっている

※出所：当社実施のアンケート調査・調査時期：2023年2月上旬・調査方法：インターネットリサーチ・調査対象者：全国・男女・20〜70代の投資興味層 2,653人（①旧制度利用者、②旧制度未利用者かつ投資に興味あり層について均等抽出）

■暴力的シーンが含まれていますが、あくまで漫画上の表現であり、当社がそれを煽動あるいは賛同するものではありません。

Q. どのような目的でNISA制度を利用したいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

単位：%

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
老後資金	78.2	67.7	84.9	89.2	86.2	77.7	61.2
子供の教育資金	16.1	31.2	34.3	19.1	3.3	2.8	0.7
住宅購入資金	11.9	26.2	23.8	9.5	3.0	2.8	1.8
趣味・旅行などの遊興費	36.8	45.3	41.8	34.6	27.9	34.0	35.9
余剰資金の運用	34.7	36.2	34.9	29.5	25.5	40.3	43.5
その他	0.2	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.4
特に目的はない	5.3	7.7	5.0	2.7	4.5	5.4	6.5

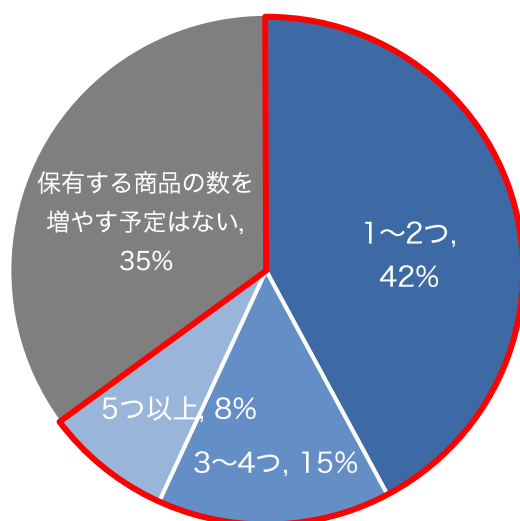
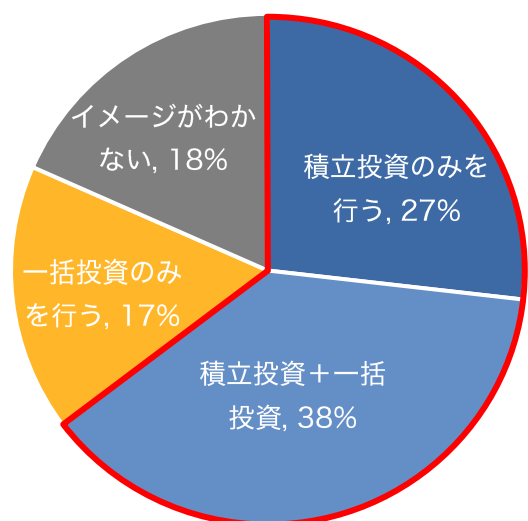
Q. NISA制度を利用して、何年程度投資を行う予定ですか。

単位：%


	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1年未満	3.7	5.2	4.1	5.1	1.8	1.9	3.6
1年以上～3年未満	9.0	11.1	7.3	8.6	7.5	7.9	11.9
3年以上～5年未満	15.0	14.9	8.2	6.6	9.9	24.1	29.7
5年以上～10年未満	25.0	9.7	12.2	19.1	34.2	38.4	41.6
10年以上～20年未満	22.8	17.4	24.1	34.3	29.3	20.3	9.4
20年以上	24.5	41.7	44.2	26.3	17.4	7.3	3.6

Q. NISA制度を利用する際の買付方法として、イメージに近いものをお選びください。

Q. 2024年からのNISA制度開始に伴い、旧制度よりも投資する投資信託の数を増やしたいと思いますか。



出所：当社実施のアンケート調査  
 ・調査時期：2023年2月上旬 ・調査方法：インターネットリサーチ 調査対象者：全国・男女・20～70代の投資興味層、2,653人 (①旧制度利用者、②旧制度未利用者かつ投資に興味あり層について均等抽出)  
 ※紙面の都合上、設問や選択肢を短く書き換える、あるいは全ての選択肢を表示していない場合があります

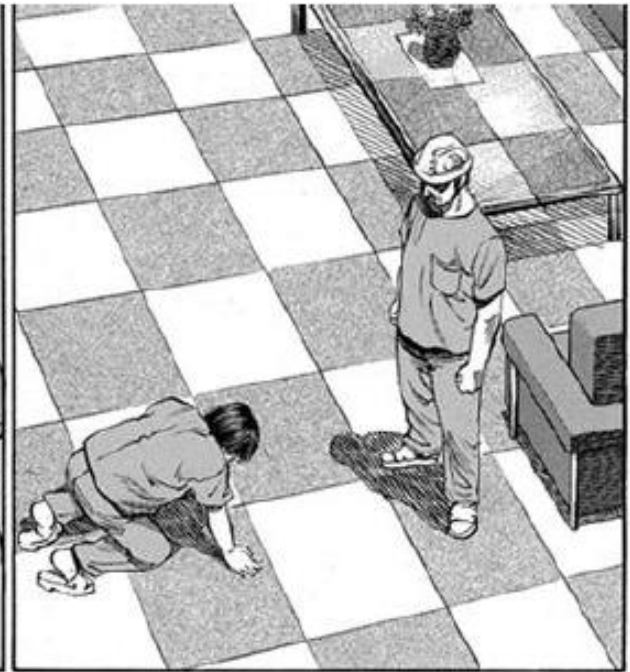


他の人は将来  
を見据えてい  
るんだぞ

いま始めなくて、  
いつ始めるんだ

■ 暴力的シーンが含まれていますが、あくまで漫画上の表現であり、当社がそれを扇動あるいは賛同するものではありません。







NISA始め  
ようと思ひます



NISA  
始めるなんて  
ステキ…

NISAに  
よろしく

③ 使い方編  
おしまい

## ご留意事項等

【投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時（ファンドによっては換金時）に直接ご負担いただく費用

購入時（換金時）手数料…上限 3.30%（税込）

※一部のファンドについては、購入時（換金時）手数料額（上限 38,500円（税込））を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額…ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）…上限 年率3.41%（税込）

（有価証券の貸付の指図を行った場合）

有価証券の貸付の指図を行った場合には品賃料がファンドの収益として計上されます。その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取る場合があります。この場合、ファンドの品賃料およびマザーファンドの品賃料のうちファンドに属するとみなした額の上限 55%（税込）の額が上記の運用管理費用（信託報酬）に追加されます。

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他の費用・手数料…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJアセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

NISA口座について

NISA口座で買い付けた有価証券を売却した際に譲渡損失が生じて、他の特定口座や一般口座での譲渡益と損益通算をすることや、繰越控除をすることはできません。本資料ではNISAの概要を表示していますが、全ての情報を網羅したものではありません。また、作成時点における法令等を基に作成しており将来予告なく変更されることがあります。また、一般的な説明であり、金融機関ごとに違う対応となる場合があります。詳しくは金融機関にお問い合わせください。

本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、NISAや積立投資の効果についてご理解いただくために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。



NISAに  
よろしく